



# 再生医療の実用化に関する ニーズ発表会 (参加無料)

●開催日時:平成29年10月6日(金) 14:00~17:00

●会場:神戸臨床研究情報センター(TRI) 第1研修室

●プログラム:

14:00-14:10 挨拶 国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED) 戦略的イノベーション創出推進プログラム(S-イノベ) プログラムオフィサー 岩田 博夫 先生

14:10-14:25 講演①「閉鎖型回路を用いた新規SVF調製システムの開発」 株式会社カネカ Medical Devices SV 開発部主任 刀禰 宏司 先生

14:25-15:10 講演②「脂肪幹細胞を用いたバイオDDSによる新しい難治性疾患治療法」 大阪医科大学 研究支援センター 実験動物部門 再生医療研究開発拠点 講師 伊井 正明 先生

15:10-15:55 講演③「種々疾患に使用される間葉系幹細胞の細胞調整プロトコールの規格化」 医療法人大隈病院 副院長 産業技術総合研究所 名誉リサーチャー 大串 始 先生

15:55-17:00 講演者との個別懇談

●お申込: 下記いずれかの方法にて、(公財)先端医療振興財団・岡 または 金子 までお申し込みください。

①メール: needs@fbri.org ②FAX: 078-306-0752

主催:公益財団法人 先端医療振興財団

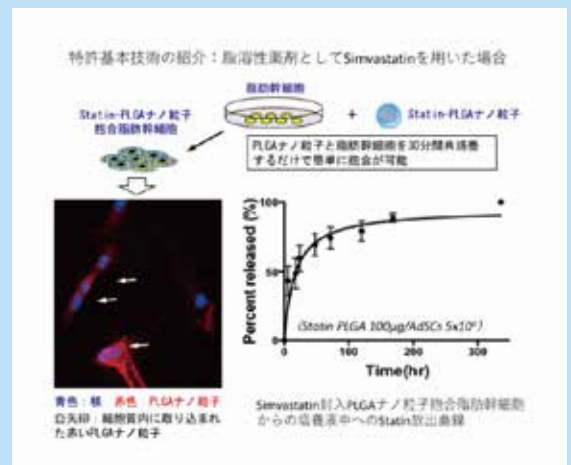
後援:NPO法人近畿バイオインダストリー振興会議

関西ティッシュエンジニアリングイニシアティブ 神戸市

## 脂肪幹細胞を用いた バイオDDSによる新しい 難治性疾患治療法

大阪医科大学 研究支援センター  
実験動物部門 再生医療研究開発拠点  
講師 伊井 正明 先生

脂肪幹細胞は、炎症組織や腫瘍に集積する性質があるため、各種薬剤を生体吸収性ポリマー(PLGA)に封入したナノ粒子を抱合させた脂肪幹細胞を作製(下図)することで、バイオドラッグデリバリーシステム(DDS)として利用することが可能である。すでに、複数の難治性疾患マウスモデルにおいてこの技術の有効性が確認できており、今後は企業や施設と連携して実用化を目指したい。



2

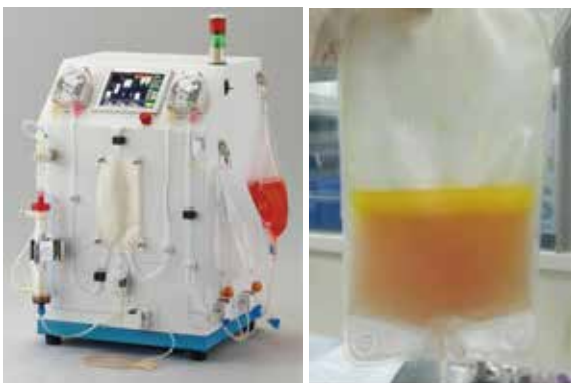
1

3

### 閉鎖型回路を用いた 新規SVF調製システムの開発

株式会社カネカ  
Medical Devices Solutions Vehicle 開発部主任 刀禰 宏司 先生

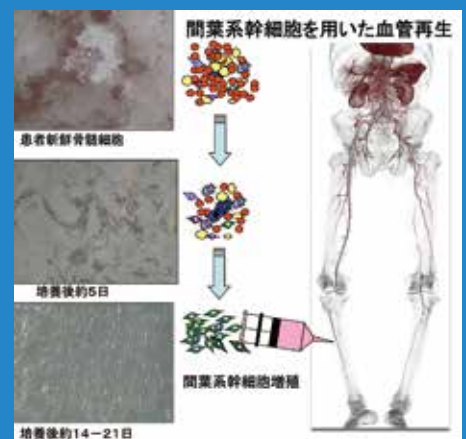
当社は、昨年より自動で細胞懸濁液の濃縮洗浄を行う「細胞濃縮洗浄システム」を販売している。この度、新たに開発した酵素処理を閉鎖系で実施するためのキットを組み合わせたことにより、脂肪組織より脂肪由来幹細胞を含む細胞群SVFを低コストで簡便かつ閉鎖的に調製可能なシステムを開発したのでご紹介する。



### 種々疾患に使用される間葉系幹細胞の 細胞調整プロトコールの規格化

医療法人大隈病院 副院長  
産業技術総合研究所 名誉リサーチャー  
大串 始 先生

再生医療新法の下、臨床研究においても企業で培養増殖された細胞が一般病院で用いられる。我々は末梢動脈疾患患者の骨髄から間葉系幹細胞を培養増殖して移植する血管再生を行ってきた。この新法の下、現在では患者骨髄をJ-TECに搬送して幹細胞を培養している。この幹細胞は心不全や脳梗塞患者等の他の疾患にも用いられ、培養プロセスを規格化することで再生医療はより普及する。



第22回

# 再生医療の実用化に関するニーズ発表会 参加申込書



平成29年10月6日(金) 14:00～

**参加申込**

送付先(FAX): **078-306-0752**

お名前

貴社名

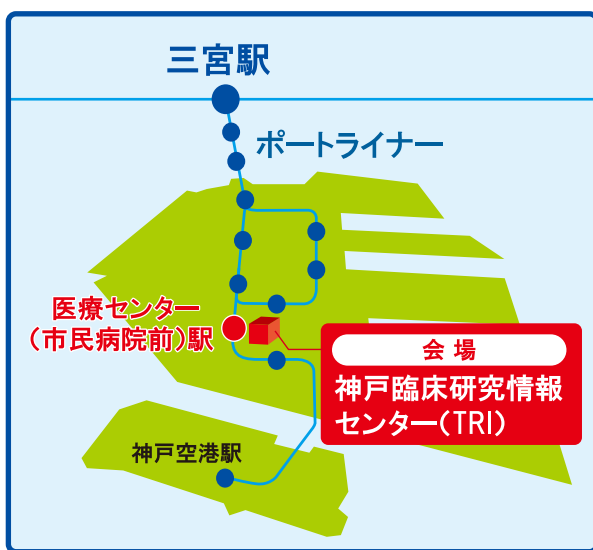
ご所属

お電話

E-mail

記入いただきました氏名、会社名、所属、及び連絡先等の情報は、(公財)先端医療振興財団が管理し、イベント運営上の各種連絡、情報提供のために使用致しますので、ご了承ください。

## アクセス



○三宮から(約12分)

ポートライナー「三宮」駅から  
「神戸空港行き」に乗車し、  
「医療センター」駅で下車、  
改札を出て右手(東側)すぐ

○神戸空港から(約6分)

ポートライナー「神戸空港」駅から  
「三宮方面行き」に乗車し、  
「医療センター」駅で下車、  
改札を出て右手(東側)すぐ

## お問い合わせ

公益財団法人 先端医療振興財団  
クラスター推進センター(担当:岡、金子)

TEL : 078-306-0719  
FAX : 078-306-0752  
E-mail : needs@fbri.org